

# Career Up Stage

進路の悩みは多くの生徒が抱えているものです。今回は進路決定において確認したいことを載せてみます。参考にしてください。

## 中学生の進路決定法

### 進路の決め方は？

中学校も1年生、2年生の頃は部活動や日々の勉強などに打ち込んで、なんとなく毎日が過ぎていますが、2年生の半ば頃から3年生になってくると、進路について悩む生徒、迷う生徒が多くなってきます。

それまでは、なんとなく部活動や学校の勉強を言われるがままに進めていけば良かったものが、高校進学に向けて、高校選択が出てきますので迷いが生じます。

高校選択においては、自分の学習レベルに応じたランクの学校を選択していくこととなりますが、同時に普通高校、工業高校、商業高校、農業高校なども選択しなければならない場合もあります。

普通高校であれば、選択についてはランクを決めていけばよいですが、工業高校や商業高校、農業高校ともなると、将来の就職先も気になってくることです。

自分の将来就職したいことや、やりたいことが決まっている生徒は、商業系、工業系、農業系などの専門分野へ進んでいくことで技術も同時に身につけていくことができます。しかし、まだ将来やりたいことが見えていない生徒については普通高校を選んでおくのが良いでしょう。

悩むことも時には必要ですが、悩んでばかりでは前に進まなくなります。ある程度悩んだら、あとは目の前のやるべきことをしっかりと着実にこなしていくだけです。

### 進路の悩みは？

中学生の進路においては、高校への進路についても悩むところですが、やはり将来どのような職業に就きたいのか、やりたいことが何なのかがポイントになります。

将来やりたいことがある程度見えてくると、高校選びも比較的容易になってきます。

でも、将来の職業を中学生のうちに決めなければならないなどと焦らなくても大丈夫です。

実際、私が中学生の頃、将来教員になると固い意志で、強くは思っていないで済ました。

自分の可能性はまだまだこれからです。中学校、高校と自分磨きに努めて、自分に何が向いているのか、何をすべきなのかをしっかりと見据えた上で、将来像を立てていくとよいでしょう。



表彰朝会の様子(6月25日)

### 親の意見は？

中学生の頃は迷いや悩みも多い為、いろいろな人からの助言やアドバイスをいただくことも多くなっていくでしょう。学校の先生などからの助言もありますが、やはり最も身近にいる親からのアドバイスが大きく影響することもあります。

これから先の見えない未来について、人生経験の豊富な親からのアドバイスは大変ありがたい、参考になることも多くあります。しかし、最終的に決めるのは自分です。

親からのアドバイスを受ける際にも、自分のやりたいことがうっすらとでもある場合には、それらを伝えておくことが良いでしょう。

自分の夢や目標を伝えておくことで、より具体的なアドバイスをいただけます。

### 進路は自分で決める

将来の自分の進路は、自分自身が選ぶものであり、たとえ曲がりくねった進み方であっても、行ったり来たりしながらの前進であっても、自分の進路は自分の足で、自分の持っている力で選んで進んで行かなくてはならないと思います。

したがって、よく分からないからといって、大切な進路問題を人任せにははいけません。自分はどのような進み方をするのがいいのか、何が自分の性格にあっているのかを、真剣に本気になって考えてください。

「自分の進路は自分で決める」という強い気持ちが必要です。

### 高校選択は慎重に

勉強はいやだけど高校へは行く。これでは高校はレジャーの場になってしまいます。そのような進学でいいのだろうか。

高校入試では点数が足りなければ入学できません。では、自分の点数で入れるところはどこだろうかと、まるで持っているお金で買える品物を選ぶみたいな考え方で、進学先を選んでいいものだろうか。安易な考え方は必ず失敗をまねいてしまいます。

皆さんには、「行ける高校」を選ぶより、「行きたい高校」を選択してほしい。

高校へは進学したが、「勉強についていけない」、「やる気がない」、「友達がいない」ということが原因で退学したり、非行に走って退学させられたりする人がいます。皆さんはそうであってははいけません。

進路選択は、慌てず慎重に、周到な研究や事前調査を通して、納得して行きたいものであります。

### 本当の喜びとは

メンタリスト「ダイゴ」さんの話をします。

小学校の時の彼は、学校の成績や容姿などからいじめを受けていて、ある時「自分が変わらないと周りは変わらない」と思うようになり、今の自分を変えるため勉強や運動を必死に頑張ったそうです。その原動力は、母親の存在だったようです。

本人も、「お母さんが大好きだった」と公言していました。彼は母親に喜んでもらうという一心で勉強等に励んでいたと言っています。

彼の話の中で、数年前に重病で亡くなった母親のことを、今の自分の経済状況なら最新医療を施し、救うことができたかもしれないと涙ぐんで話していました。

皆さんは、自分が頑張れる原動力やモチベーションは何ですか。私が中学生の頃、親から「勉強は自分のためにするもの」と言われました。今はそう思う事もありますが、当時は納得して頑張る事ができませんでした。

しかし、人の役に立つ事には、自分の事より頑張ってやっていた気がします。

自分の事よりも人のためにという思いが、一生懸命頑張れる力になると思います。

ある人が言っていました。「本当の喜びとは、人のために何かをやってあげて、その人がそのやってくれた事に感謝して喜ぶ、その笑顔を見て喜ぶこと」だと。

皆さんが勉強や諸活動に頑張って良い成績や結果を出して、一番に喜ぶ人は両親です。お父さん、お母さんの喜ぶ笑顔を見て、本当の喜びを体験して下さい。